

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4・10 11・23	意見や苦情を、運営またケアに反映するように窓口や第三者機関は設けているが、さらに細部表出しやすい機会や、機関が必要である。	入居者、家族、地域の方、そして職員の意見・苦情が、それぞれの場面、機会に応じて聞き入れながら運営・ケアすることが出来る。	1. 入居者本位の基本に絶えず立ち返るようにその都度話し合い、違う意見をすり合わせて、1つの方法を生み出すようにする。 2. 運営推進会議、家族会、本人会議、職員ミーティングなどで、一人ひとりの意見が必ず吸い上げられるような進行に心がける。 3. 日頃から、コミュニケーションを取る中で、何気無く発した言葉を書きとめたり(情報共有できる工夫を行なう)、意見の表出が苦手な方に対し、あきらめずにアプローチし続ける。	12ヶ月
2	13	職員が外部研修、内部研修を段階的に行なっていくことが出来ても、研修参加した職員が離職した後も、他の職員に生かされないことがある。	研修参加した職員が、学習、習得した事柄を、伝達することで、全職員に、浸透し、標準化したケアを継続して行うことが出来る。	1. 研修参加は、目的を明確にした上で受講し、結果をまとめたものを、内部研修(てんじゆ勉強会)にて、伝達講習をおこなう。 2. 内部研修の内容を、ケアに活かし浸透させるために、ケアカンファレンスで具体的内容を話し合う。 3. 研修後、ケアに行かせる内容だったかどうかのアンケート・意見の集約を行なう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。